

追加型投信／内外／株式

グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)

〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2020年2月27日

※ 本資料は、ウエルリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、「ウエルリントン社」ということがあります。)のコメントをもとに三菱UFJ国際投信が作成しています。

平素は、「グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは2020年2月27日に第7期の決算を迎え、基準価額水準が10,000円(1万口当たり)を上回ったことから、分配金は下記のとおりとなりましたことをご報告いたします。あわせて、当期の運用状況等につきましても、ご報告いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

決算情報
(2020年2月27日)

分配金
(1万口当たり、税引前)

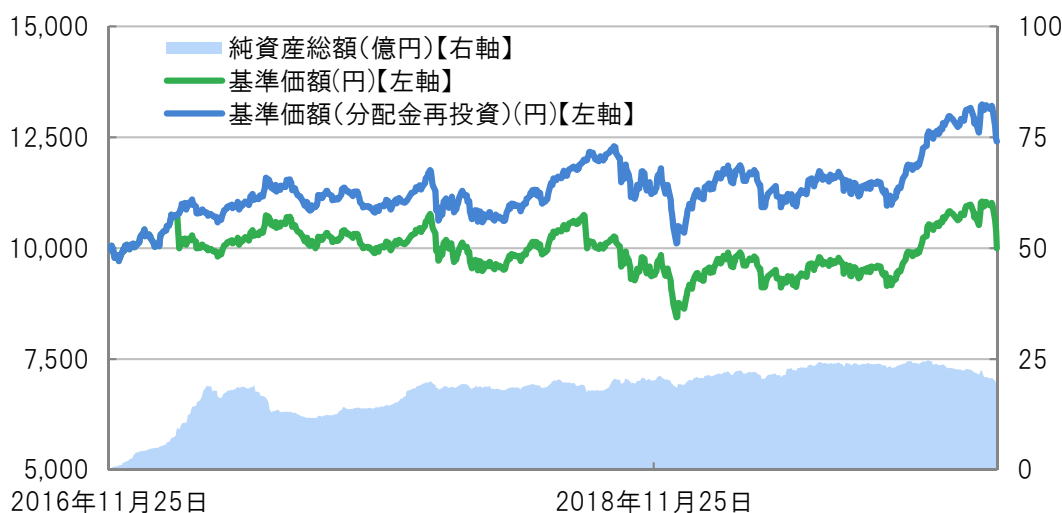
357円

基準価額
(1万口当たり、分配落ち後)

10,000円

※ 当ファンドは、原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(1万口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

基準価額等の推移 (期間: 2016年11月25日(設定日)～2020年2月27日)



- ・ 基準価額(1万口当たり)、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・ 信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

【分配金実績 (1万口当たり、税引前)】

第3期 (2018年2月)	第4期 (2018年8月)	第5期 (2019年2月)	第6期 (2019年8月)	第7期 (2020年2月)	設定来累計
214円	740円	0円	0円	357円	2,224円

・ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮していません。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

当期(2019年8月28日~2020年2月27日)の当ファンドの運用状況および市場環境

■ 当ファンドの運用状況 (図1)

当ファンドの基準価額(分配金再投資)は、良好な市場環境に加え、保有株式の価格上昇により堅調に推移し、2020年2月7日には設定来最高値(13,237円)を付けましたが、足下不安定な相場環境を受け下落しました。

■ 市場環境 (図2)

➤ 局面1 2019年8月28日~2019年10月21日

先進国株式: 騰落率 +5.1%

先進国ヘルスケア株式: 騰落率 +2.4%

- 先進国株式は、米中貿易摩擦に対する懸念後退、英国と欧州連合(EU)が離脱協議に合意、米国の利下げ期待が高まったことなどから上昇しました。
- 先進国ヘルスケア株式は、各企業が良好な7-9月期の決算を発表したことなどから上昇しましたが、先進国株式のパフォーマンスには劣後しました。

➤ 局面2 2019年10月22日~2020年1月22日

先進国株式: 騰落率 +9.6%

先進国ヘルスケア株式: 騰落率 +15.2%

- 先進国株式は、米中貿易協議の進展期待や緩和的な金融環境などの好材料を背景に、期間を通じて上昇基調で推移しました。
- 先進国ヘルスケア株式は、先進国株式を上回って上昇しました。主な理由は、下記2点です。

① 下落していたヘルスケア・プロバイダーの株価上昇

米国大統領選の民主党の有力な候補者の発言等により下落していたユニテッドヘルス・グループなどの医療保険会社[ヘルスケア・プロバイダー]の株価が、過度な警戒感が薄らいだことにより上昇しました。(図3)

② 良好な治験結果などのニュース

2019年10月22日発表のエーザイ[医薬品]とバイオジェン[バイオテクノロジー]の良好な治験結果などポジティブサプライズが、株価上昇に弾みをつけました。

※[]内には、セクターを記載しています。

➤ 局面3 2020年1月23日~2020年2月26日

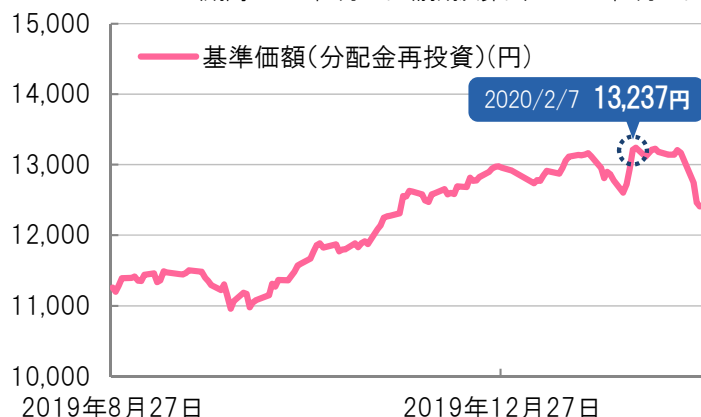
先進国株式: 騰落率 ▲5.6%

先進国ヘルスケア株式: 騰落率 ▲5.8%

先進国株式、先進国ヘルスケア株式ともに、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に不安定な相場環境となりました。

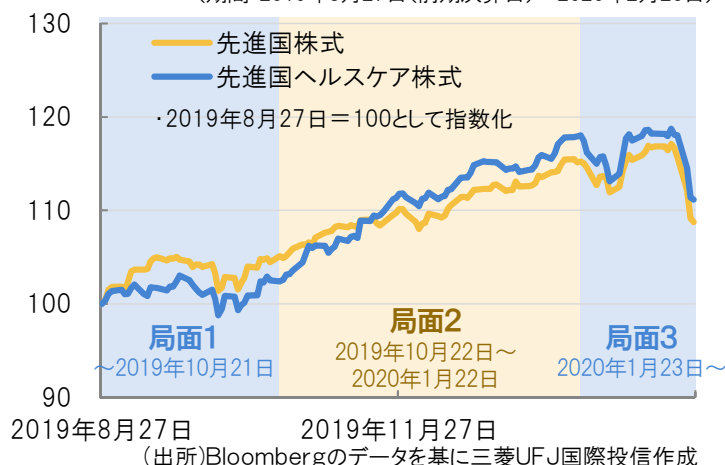
(図1) 当ファンドのパフォーマンス推移

(期間: 2019年8月27日(前期決算日)~2020年2月27日)



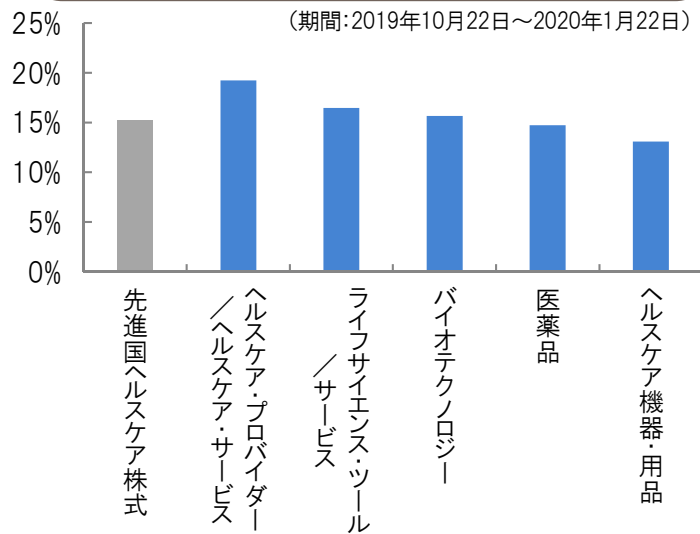
(図2) 各指数のパフォーマンス推移

(期間: 2019年8月27日(前期決算日)~2020年2月26日)



(図3) 局面2における先進国ヘルスケア株式のセクター別騰落率

(期間: 2019年10月22日~2020年1月22日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・基準価額(分配金再投資)(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・セクターは、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類しています。
 ・上記は指数(現地通貨ベース、配当込み)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・上記は、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

当ファンドの基準価額に寄与(影響)した主な銘柄 2019年8月28日～2020年2月13日

基準価額にプラスに寄与した銘柄

ブリストル・
マイヤーズ スクイブ

米国の大手製薬企業。がん免疫治療薬を中心とした革新的医薬品の研究・開発に強み。

がん免疫治療薬の併用療法の治験において、良好な結果が示されたことなどから株価が上昇しました。また、がん免疫治療薬以外にも複数の新薬候補を有しており、長期にわたる成長を期待しています。



エーザイ



日本の大手製薬企業。アルツハイマー型認知症治療薬の開発をリードしており、複数の新薬候補を保有。

2019年春に開発中止を発表した米バイオジェン社とのアルツハイマー型認知症治療薬の治験結果が良好であることが2019年秋に判明し、株価が大きく反発。がん治療薬の開発とともに、大きなポテンシャルを有すると考えています。



基準価額にマイナスに影響した銘柄

ブルーバード・バイオ



米国のバイオテクノロジー企業。希少疾患向けの遺伝子治療技術をはじめ有力な新薬候補を保有。

CAR-T(カーティ)細胞療法で他社との競争が激化しているとの懸念から株価は軟調に推移しましたが、治験結果はおおむね良好であり、市場は新薬候補の持つポテンシャルをすべて反映しきれていないと考え、保有を継続しています。



NMC ヘルス

アラブ首長国連邦



アラブ首長国連邦最大のヘルスケアサービス企業。

中東全域にビジネスを展開しており、高齢化や特殊医療への需要増大などの恩恵を受けることが期待されていました。しかし2019年12月に不正会計の疑いを公表され、株価が急落しました。事実はいまだ明らかになっていないものの、当ファンドではすでに全売却しており、2020年2月13日時点での保有はありません。



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。・上記は、2019年8月28日から2020年2月13日の間に、基準価額に寄与(影響)した主な銘柄をご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

グローバル・ヘルスケア & バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

どうなる、2020年のヘルスケア株式 Q&A

1 Q: 2020年11月の米国大統領選挙は、ヘルスケア株式に影響しますか。

A: ヘルスケアが政治的争点の1つになり、関連する株価が短期的に下落する可能性はありますが、懸念は徐々に払拭され、株価の回復・上昇が期待されます。

近年、米国では医療費の高騰などが社会問題となっており、薬価の引き下げや保険制度の見直しは政治的な争点の1つになっています。そのため、大統領選の有力な候補者によるヘルスケア業界に絡んだ発言により、関連する企業の株価が変動する傾向があります。

過去の選挙や、今回の選挙のここまでの動向を見ても、特に民主党が打ち出すヘルスケア関連の政策提案が関連銘柄の重石となってきました。しかし、ヘルスケアに関する政策の大きな変更は現実的ではないと思われ、ヘルスケア株式への影響は短期的なものと考えています。

今回も大統領選挙に向けた政治的な発言により短期的にヘルスケア株式が下落する可能性はありますが、徐々に懸念は払しょくされ、その後は個別銘柄のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が見直され、業績の堅調な企業の株価を中心に回復・上昇すると期待されます。短期的な下落局面は、良い投資機会となる可能性があります。

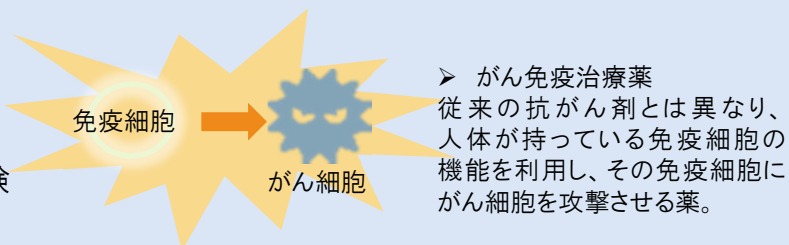
2 Q: 新薬で注目している領域について教えてください。

A: 引き続き、がん領域に注目しています。

当ファンドが注目している治療薬の一部をご紹介します。

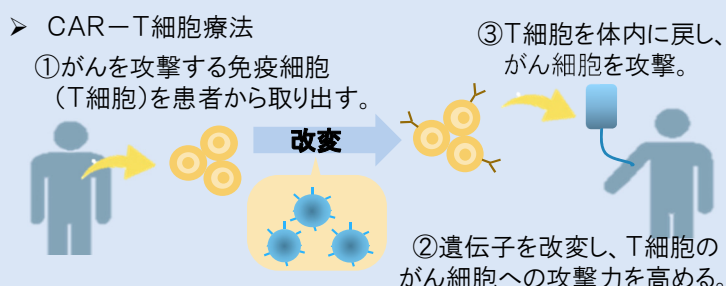
1. がん免疫治療薬

勝者となる企業は1社ではないと考えており、複数の企業(ブリistol・マイヤーズ スクイブ、アストラゼネカ、イーライ・リリーなど)の治験動向に注目しています。



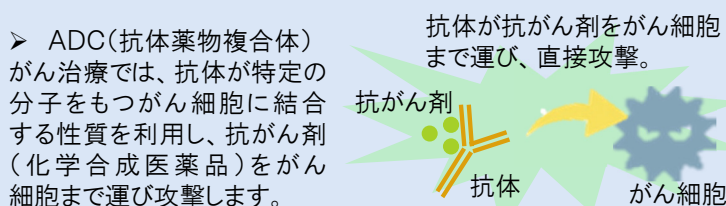
2. 遺伝子治療薬

ブルーバード・バイオがブリistol・マイヤーズ スクイブと協働で開発中の多発性骨髄腫向けCAR-T細胞療法は、FDA(アメリカ食品医薬品局)の承認を得ることが期待されており、注目しています。



3. ADC(抗体薬物複合体)

化学合成した医薬品とバイオ医薬品を組み合わせたADCの分野では、シアトル・ジェネティクスと第一三共の持つ技術に引き続き注目しています。



・イラストはイメージです。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、2020年1月末時点における当ファンドの組入銘柄より、がん領域に関する主な銘柄をご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

3 Q:ヘルスケア業界の動向について教えてください。**A:引き続きM&A(合併買収)が行われ、ヘルスケア業界の再編が見込まれます。**

近年、買収額が5兆円を超える超大型案件が複数実行されており、大型企業同士のM&Aは活発になっています。(下記で一例を紹介)

- ・ 2019年1月買収完了:武田薬品工業がシャイアー(アイルランドの製薬企業)を買収
買収額:約460億ポンド(約6.4兆円 ※1英ポンド=138.30円で円換算)
- ・ 2019年11月買収完了:ブリストル・マイヤーズ スクイブ(米国の製薬企業)がセルジーン(米国のバイオテクノロジー企業)を買収 買収額:約740億米ドル(約8兆円 ※1米ドル=108.61円で円換算)

超大型M&Aの目的をセクター別でみると、「ヘルスケア・サービス」や「ヘルスケア機器・用品」は業界内で集約化が進む中での収益性向上を狙ったケースが、「医薬品」では特許切れを補完しあうことで長期的な成長性を高めることを目的としたケースが多くなっています。質の高い技術力を有する企業や有力な新薬候補を持つ企業に対しては、高いプレミアムを乗せてでも買収を実行する傾向が顕著となっています。

また、特定分野で高い技術力・専門性を有する中小型のバイオテクノロジー企業等に対しても同様に高いプレミアムを乗せた買収が実行されており、これは今後も続く可能性があります。こうした動きなどを背景に、当ファンドでは中小型のバイオテクノロジー企業にも積極的に投資を行っています。

2019年11月には、M&Aへの期待も含め保有していたメディシンズ(米国のバイオテクノロジー企業)をノバルティス(スイスの製薬企業)が買収することを発表しました。買収額は買収発表前30営業日の加重平均株価を約41%上回るプレミアムを乗せた価格となり、当ファンドのパフォーマンスに大きく寄与しました。

2020年も引き続きヘルスケア業界全体でM&Aが行われ、業界の再編が進むことが見込まれることから、今後もM&Aの動向に注視していきます。

・セクターは、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類しています。・上記は、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【当ファンドに投資する際の注意点】

当ファンドは、主に世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式に投資するファンドです。ヘルスケア・セクターに特徴的なディフェンシブ特性を有する銘柄が多くなるため、特定のセクターの変動による影響が大きくなる可能性があります。したがって、当ファンドの基準価額は、株式市場全体とは異なる動きをする場合があります。

【本資料で使用している指数について】

■先進国株式:MSCI ワールド インデックス ■先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド ヘルスケア インデックス ■医薬品:MSCI ワールド 医薬品 ■バイオテクノロジー:MSCI ワールド バイオテクノロジー ■ヘルスケア機器・用品:MSCI ワールド ヘルスケア機器・用品 ■ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス:MSCI ワールド ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス ■ライフサイエンス・ツール/サービス:MSCI ワールド ライフサイエンス・ツール/サービス

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■ファンドの特色

特色1 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。

- ・世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
- ・株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。

特色2 財務・収益状況(ファンダメンタルズ)の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資(バリュー投資)を行います。

- ・新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
- ・銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行います。
- ・企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ*を行います。
- *【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

特色3 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

- ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあります。

特色4 株式等の運用にあたっては、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。

※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

特色5 年2回決算を行い、収益の分配を行います。

- ・毎年2月27日および8月27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。
- (ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

■ファンドのしくみ

- ・ファミリーファンド方式により運用を行います。
- ＜当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド＞
- グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

株式変動 リスク	株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。
為替変動 リスク	当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資していますので(ただし、これらに限定されるものではありません。)、為替変動リスクが生じます。これら外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあり、この場合には為替変動リスクが生じることがあります。 また、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジコストが発生する場合があります。円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2029年2月27日まで(2016年11月25日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年2・8月の27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% をかけた額
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率2.420%(税抜 年率2.200%) をかけた額
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

株式会社りそな銀行

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○		○	

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。